

令和3年度 第3回 新潟市都心のまちづくり推進本部会議

日時： 令和4年1月31日（月）13時30分～

会場： 秘書課 第2会議室

次 第

1. 本部長挨拶
2. 都心のまちづくり【「にいがた2km」の覚醒】の修正について
3. 都心のまちづくりの基本方針を踏まえた本市の取組の方向性と令和4年度の取組について
4. 市民、関係団体等から頂いた主なご意見・ご提案について
5. 意見交換等
6. 本部長より総括

<配布資料>

- 資料1 都心のまちづくり【「にいがた2km」の覚醒】（修正版）
- 資料2 都心のまちづくりの基本方針を踏まえた本市の取組の方向性
- 資料3 市民、関係団体等から頂いた主なご意見・ご提案について

都心のまちづくり【「にいがた2 km」の覚醒】

～市民とともに「かわ・まち・みなと」で紡ぐ過去から未来への成長エンジン～



未定稿

資料1

1. 歴史の継承

- 江戸時代には、北前船の最大の寄港地となるなど、人・物・文化が交流する日本海側最大の湊町として繁栄し、幕末の開港五港にも選ばれた。その風情や趣は現在に受け継がれている。
- 日本海側初の特定重要港湾の指定や、地方空港初の国際空港指定、上越新幹線の開通や、高速道路網の整備など、産業や交通のインフラ整備が着実に進められてきた。
- 2007年には本州日本海側で唯一の政令指定都市となり、さらなる拠点性の向上に向けた施策を推進してきた。

2. 本市の現状・課題

- ① 新潟駅周辺整備事業の進展
- ② 都心エリアで民間開発の兆し
- ③ 若い世代の県外流出と人口減少
- ④ **老朽化したビル**の更新の停滞
- ⑤ 進出企業のニーズを満たすオフィス床の不足

3. 時代の要請

- ① ウィズコロナ・アフターコロナへの対応
- ② SDG s (持続可能な開発目標)の実現
- ③ ゼロカーボンの推進 (脱炭素社会の実現)
- ④ デジタル化の進展

4. 【「にいがた2 km」の覚醒】へ

みなとまち新潟を象徴する信濃川と萬代橋から広がる「都心エリア」において、高次都市機能の集積や魅力の創出、賑わいづくりを市民の皆様と一体で取り組むことで、『緑あふれ、人・モノ・情報が行き交う活力あるエリア』を創造し、8区のネットワーク強化を図りながら、『本市経済・産業の発展を牽引する成長エンジン』としていく取組を推進。

5. 都心のまちづくり基本方針 三本の柱

- I. 人・モノ・情報の中心拠点となる 稼げる都心づくり
- II. 都心と8区の魅力・強みのコラボレーションによる
新たな価値の創造
- III. 居心地が良く、市民が主役になるまちづくり

6. 基本方針における推進項目

基本方針 I. 人・モノ・情報の中心拠点となる 稼げる都心づくり

官民協働による「稼げる都心づくり」を推進し、その成長エネルギーを全市域へ波及。

推進項目 ① 都市機能の更新・充実に向けた都心部の再開発促進 (都市再生緊急整備地域の活用)

- ② 戦略的な企業誘致の推進
- ③ 産業DX、ICT推進の先進エリアとしての取組強化
- ④ 歴史・文化・スポーツを通じた賑わいの創出
- ⑤ 観光資源を活かした交流人口の拡大

基本方針 II. 都心と8区の魅力・強みのコラボレーションによる 新たな価値の創造

都市と田園が調和する本市の魅力発信と、異業種間の協業・変革を進め、次世代に向けたまちづくり。

- #### 推進項目
- ① 「新潟の食と花」の魅力発信
 - ② 「儲かる農業」の推進
 - ③ 新たな価値やビジネスが創出される環境づくり
 - ④ 観光資源を活かした交流人口の拡大【再掲】

基本方針 III. 居心地が良く、市民が主役になるまちづくり

都市緑化の推進、道路空間・水辺空間の有効活用など、ゆとりと潤いのあるまちづくり。

- #### 推進項目
- ① **都心の水辺空間**の魅力を十分に活かした賑わいの創出
 - ② くつろげる 歩いて楽しい**緑豊かな**都市空間の実現
 - ③ **都心における各エリアの特性を活かした**
良好な都市景観の形成

都心のまちづくりの基本方針を踏まえた本市の取組の方向性

未定稿

資料2

基本方針1. 人・モノ・情報の中心拠点となる 稼げる都心づくり ～官民協働による「稼げる都心づくり」を推進し、その成長エネルギーを全市域へ波及～

推進項目	検討事項	取組の方向性	R4年度の取組
①都市機能の更新・充実に向けた都心部の再開発促進（都市再生緊急整備地域の活用） 高度な機能を備える都心形成を推進するとともに、脱炭素社会の推進や防災力の向上など安心安全な都心づくりを目指します。	・開発の進め方について	・都市再生緊急整備地域の活用により、都心の再開発が促進されるようパンフレット「新潟都心地域の目指す姿」・「新潟都心地域開発ガイドライン」を作成し、活用していく。	・パンフレットの活用継続 ・補助制度の新設
	・行政支援について	・再開発補助制度の新設等を検討する。	
	・エリアの設定・拡大について	・土地の高度利用により重点的に開発を促進し拠点化すべき地域において、開発機運を踏まえ継続的に区域を検討する。	・開発機運を踏まえ継続的に区域を検討
②戦略的な企業誘致の推進 魅力ある雇用の場の創出はもとより、立地支援制度の新設・拡充により、国内外の企業から「選ばれる都市」の実現を目指します。	・主にIT企業誘致の支援の充実について	・企業誘致の更なる推進を図るため、補助制度の新設・拡充を検討する。	・IT企業等の誘致において更なるインセンティブとなる支援制度の新設及び拡充【R4年度優先検討】
	・スタートアップ支援の充実について	・創業にかかる補助制度の新設・拡充を検討する。	・スタートアップ支援事業の推進 ・DXプラットフォーム事業の拡充【R4年度優先検討】
③産業DX、ICT推進の先進エリアとしての取組強化 DXの促進やICTの活用を積極的に支援することで、新事業の創出や高付加価値化の取組を促進します。	・5G環境の整備、5Gを活用した新たなビジネス創出への支援について	・新潟市産業振興センター内に開設する5Gビジネスラボの利用を促進・活用する。	・5Gビジネスラボの運用を継続し、各種5G実証を支援【R4年度優先検討】
	・企業のDX推進について	・DXプラットフォーム参画企業による既存プロジェクトの推進や、新規プロジェクトの随時立ち上げを推進する。	・DXプラットフォームの運用を継続し、概念実証（PoC）や専門人材活用を支援【R4年度優先検討】
	・スーパーシティ構想について	・スーパーシティ構想の実現に向けて検討する。	・にいがた2kmにてドローンなどの先端サービスの実証に向けて必要な規制緩和やデータ連携を検討【R4年度優先検討】
	・ドローンを活用した新たなビジネス創出への支援について	・DXプラットフォームの物流DXプロジェクトを推進する。	
	・ICT技術やデータを活用したまちづくりについて	・ICT技術により様々なデータを収集、分析することで、都市が抱える諸課題の解決やまちづくりに活用していく。	・イベントなどを活用し、様々なデータを収集し、分析結果に基づいた各種施策を検討【R4年度優先検討】
④歴史・文化・スポーツを通じた賑わいの創出 みなとまちの歴史・文化を活かした魅力の創出や、文化創造と発信の推進、スポーツによる賑わいの創出を図ります。	・文化遺産をはじめとする歴史的建造物の保護（保存と活用）について	・地域再生計画に基づく「まちなみ整備なじらね協定促進事業」に継続的に取り組む。 ・古町花街地区の特別区域指定に向け関係者との連携、合意形成を図る。 ・歴史的建造物の維持、活用に向けた規制緩和を検討する。 ・歴史的建造物の文化財指定・新規登録を促進する。	・地域再生計画に基づく「まちなみ整備なじらね協定促進事業」の継続 ・古町花街地区の特別区域指定に向け景観形成推進組織である「古町花街の会」と連携しつつ、地権者等の合意形成を行う ・歴史的建造物の維持、活用の支障となる規制について緩和を検討 ・歴史的建造物の新規指定及び新規登録の推進
	・芸妓などの料亭文化のほか、アニメや演芸など地元住民も引き付ける文化の育成について	・古町エリアの空き家・空き店舗を活用したクリエイティブ人材の集積を進め、文化ベンチャーの育成・発信につながる仕組みづくりを検討する。	・クリエイティブ人材が集まるしかけづくりの検討
	・新潟でしか見られないものを新潟人が作り発信することについて	・がたふえすにARやVRなどの最新技術を取り入れることで、さらなるマンガアニメのまちの発信につながるよう検討する。 ・地方から質の高い文化を創造、発信していく持続的な仕組みづくりを検討する。	・がたふえすでの実施に向け、ARやVR関連企業と調整 ・Noism Company Niigataをはじめとしたりゅーとぴあの創造事業等の実施
	・マンガアニメをはじめ、音楽や踊りなど、新潟市が誇る文化コンテンツの磨き上げと発信力の強化について		
	・にいがたアニメ・マンガフェスティバル（がたふえす）やゲームなどによるまちなかの活性化について		
	・新潟シティマラソンの継続・充実について	・「シティマラソン」の再開を目指す。 ・コース見直しは中長期課題として検討する。	・アフターコロナを見据えて、シティマラソンの再開を目指す
・「にいがた2km」周辺施設とのイベント連携や異業種協力について	・R3マラソンイベントでストリート陸上を試行し、今後の実施を検討する。 ・異業種を含む民間との連携を検討する。	・「ストリート陸上」の試行継続または試行結果を踏まえた本格展開や異業種連携の検討、課題整理（民間実施、市は支援）	
・アルビレックスとのコラボによる、新潟独自色の発信と誘客の仕掛けについて	・一部実施済みのフラッグPRの拡大、連携を検討する。 ・民間主体でのPR連携を推進する。 ・「にいがた2km」情報発信との連携を検討する。	・フラッグPR拡大実施の連携、関係者協議（民間実施、市は支援） ・PR連携等、協力・支援	

推進項目	検討事項	取組の方向性	R4年度の取組
⑤観光資源を活かした交流人口の拡大 観光資源を最大限に活用するとともに、様々な媒体による情報発信やMICEの推進などにより、交流人口の拡大を図ります。	・北前船、古町花街、みなとびあ等の観光資源を活かした交流人口の拡大について	・既存の観光資源を最大限に活用し、新潟駅から萬代橋、古町をみなとまちの風情を感じながら、人々が活発に往来するエリアとなるよう官民一体で取り組む。	・「新しい観光スタイル推進協議会」実施事業の継続 【R4年度優先検討】 ・2km情報発信プラットフォームとの連携を検討 ・みなとまちに関連する観光資源の活用について関係団体と検討
	・都心エリアにおける情報発信拠点の整備について	・既存の万代、古町の情報発信スポットの有効活用を推進する。 ・新しくなる新潟駅構内に整備予定の新・観光案内センターの機能充実を図る。	・新・観光案内センターの基本設計と実施設計
	・デジタル媒体を活用したプロモーションの強化について	・ARやVRを活用したデジタルコンテンツの導入及び観光情報の提供方法について検討する。	・ARやVR等のデジタルコンテンツの導入及び活用について調査研究
	・MICEの更なる推進について	・ウィズコロナ・ポストコロナ時代に対応した支援制度によりMICE誘致を推進する。	・支援制度拡充を継続し更にMICEを誘致 【R4年度優先検討】
	・県内及び近県自治体との広域連携について	・県内自治体及び近県と連携し、テーマやターゲットを意識した誘客プロモーションを継続する。 ・特に佐渡市については、世界遺産登録を見据えて連携を強化していく。	・誘客連携協定等を締結する都市及び様々なテーマでつながる地域との広域連携事業を実施 ・佐渡市については、新潟・佐渡両市、JR東日本など関係団体と連携し、誘客促進キャンペーン及びそれに伴う受入環境整備を行う【R4年度優先検討】
・クルーズ船誘致について	・感染状況を見極めながら、まずは国内船社、次に海外船社と段階的にセールスを再開し、寄港を誘致していく。	・感染状況を見極めながら、まずは国内船社、次に海外船社と段階的にセールスを再開し寄港誘致 ・R4年度は、現時点で、西港に4回国内船の寄港を予定	
⑥その他（商店街の活性化） 魅力あるイベントや複数商店街の連携を促進するほか、魅力的なお店の創出を支援することにより、商店街の活性化を図ります。	・魅力あるイベント実施による来客者数の向上、にぎわい創出について	・魅力あるイベントによるにぎわい創出を推進する。 ・地域再生計画に基づく新潟市古町地区魅力創造支援補助金による魅力的なコンテンツの創出を推進する。	・イベント実施に対し経費補助 ・新潟市古町地区魅力創造支援補助金の継続
	・複数商店街の連携、連動した取り組みの実施について	・他の商店街との連携可能性の模索・協議・実施に対する支援を検討する。	・連携事業に対し経費補助
	・魅力的なお店の創出について	・企業の新事業展開への支援を行う。 ・経営相談体制を強化する。 ・新規の創業に対する支援を行う。 ・地域再生計画に基づくまちなみ整備なじらね協定促進事業の活用を図る。	・経営相談や新規出店支援の実施 ・新規創業を行う事業者に対し有利な融資を実施 ・まちなみ整備なじらね協定促進事業の継続

基本方針Ⅱ．都心と8区の魅力・強みのコラボレーションによる新たな価値の創造

～都市と田園が調和する本市の魅力発信と、異業種間の協業・変革を進め、次世代に向けたまちづくり～

推進項目	検討事項	取組の方向性	R4年度の取組
①「新潟の食と花」の魅力発信 関係者のネットワークを強化し、本市の強みである食と花の魅力を内外に発信します。	・食と花のイベントについて	・食と花の関係者参加型イベント開催（各区生産者・料理人・学生による2kmエリアでの定期マルシェ）に向けて検討する。	・食と花のマルシェを開催（市主体）【R4年度優先検討】
	・食と花の関係者との連携について	・食と花の関係者ネットワークづくりを推進する。（生産・販売・料理人・学校など食と花の関係者によるネットワークづくり）	・食文化創造都市推進会議の取組（民間プロジェクトへの助成）【R4年度優先検討】
②儲かる農業の推進 スマート農業やフードテック・アグリテックの取組みを進め、新たな付加価値を創出することで、「儲かる農業」を推進します。	・ICTを活用したスマート農業の推進について	・スマート農業の推進に向けた施策拡充を図る。 ・国、県、関係団体を含めた農業DXの検討会設置を進める。	・スマート農業の推進に向けた施策拡充【R4年度優先検討】
	・IT事業者と農業事業者のマッチングの場について	・アグリテック企業へ農業者を紹介する取組みを進め、本市の強みである食や農を活かした「フードテック・アグリテック」をさらに推進する。 ・DXプラットフォーム会員と若手農業事業者とのマッチングを推進。 ・フードテック・アグリテック事業の拡充を検討する。 ・DXプラットフォーム事業の拡充を検討する。	・フードテック・アグリテック事業の推進 ・DXプラットフォーム事業の拡充【R4年度優先検討】
③新たな価値やビジネスが創出される環境づくり 多様な企業や人材、技術やデータなどをつなぐプラットフォームの構築やスタートアップ支援により、イノベーションや新事業の創出を図ります。	・企業間連携、産官学連携の推進について	・地域や企業間でAI・5Gを活用した新事業を推進するために、市内外企業が意見交換できるプラットフォームの利用を促進する。 ・スタートアップエコシステムの形成に向けた取り組みを進める。 ・経済社会の変化に対応するための事業再構築や新事業展開を後押しする。	・DXプラットフォーム事業の拡充【R4年度優先検討】 ・スタートアップ支援事業の推進 ・新事業展開への取組みを支援
④観光資源を活かした交流人口の拡大【再掲】			
その他	・8区との連携強化について	・「にいがた2km」と「8区のネットワークの深化」をさらに強化し、加速させるため、関係部区との連携体制を検討する。	・「にいがた2km×8区連携」を強化・加速するための組織を立上げ、都心と8区の連携に向けた方策を検討

基本方針Ⅲ. 居心地が良く、市民が主役になるまちづくり ～都市緑化の推進、道路空間・水辺空間の有効活用など、ゆとりと潤いのあるまちづくり～

推進項目	検討事項	取組の方向性	R4年度取組
<p>①都心の水辺空間の魅力を十分に活かした賑わいの創出 多様な水辺資源を活かし、賑わいを創出するとともに、人が集いゆったりと過ごせる魅力的な水辺空間の形成を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「信濃川やすらぎ堤等の水辺空間」を徹底活用について 水辺空間周辺の都市ブランディングについて アクセス機能の強化（各拠点と万代島地区の周遊性の向上、万代島地区内の回遊性の創出）について にぎわい空間と憩い空間づくり（冬季や夜間も含めた日常的なにぎわいの創出）について 情報発信と人の誘導（情報発信力強化による認知度の向上）について 	<ul style="list-style-type: none"> 信濃川やすらぎ堤や、万代テラスなど都心の水辺空間の賑わい創出を推進する。 官民連携エリアプラットフォームの構築によりエリア全体での魅力と価値向上を図る。 かわ・みち・みなとの連携・広報強化（大河津分水路の100周年と関屋分水通水50周年の記念事業との連携）を図る。 より質の高い景観を形成するための景観計画の見直しを検討する。 市民との協働による花と緑の空間の創出を推進する。 周辺拠点とのアクセス改善（県市）について検討する。 新潟駅から万代島へのアクセス改善を検討する。 万代島多目的広場の利用を促進する。 みなとまち新潟の象徴としてのピール（認知度の向上）を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ミズベリングの実施およびマネジメント事業者の公募・決定 新潟駅・万代地区周辺の将来ビジョンの策定および官民連携エリアプラットフォームの構築【R4年度優先検討】 信濃川沿岸地区の景観計画の見直し 通水100周年、50周年を契機とした川と水辺の魅力創出・発信 信濃川右岸と左岸で毎年秋に近隣の小中学校や自治会との協働によるチューリップ球根の植栽 みなと循環線の万代島地区への延伸の実証運行 新潟駅から万代島～ピアBandaiにおける案内・誘導サイン整備 指定管理者との連携による万代島多目的広場の利用促進 万代島地区のにぎわい創出に資する情報発信手法の検討
<p>②くつろげる 歩いて楽しい緑豊かな都市空間の実現 都心の道路空間の再構築や緑化、多様な交通手段による回遊性の向上など、居心地の良い人中心のストリークの形成を目指します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 人中心のウォーカブルな空間づくりについて 公共空間利活用の推進（歩行者天国、店先のカフェテラス、マルシェ、キッチンカー、イベント開催など）について 歩いて楽しい景観づくりについて ウォーカブルを支える都市機能の向上について 「にいがた2km」の緑化推進について シェアサイクル（サイクルポート）の設置について 観光地へのアクセス、周遊について にいがた2kmから周辺エリアへのアクセス・回遊性について 移動性・回遊性の向上に資する新たなモビリティの導入について にいがた2km内のバス料金の特別化について ICTの活用、MaaSの推進について 公共交通と商店街・観光施設の連携について カーシェアリングの推進について 	<ul style="list-style-type: none"> 人中心のウォーカブルな空間づくりを推進する。（道路の再構築、ベンチの設置など居心地がよい滞在空間の確保、地下空間の利活用、ウォーカブルに資する駐車場施策の展開） 都市再生推進法人の可能性を広げるための施策展開を検討する。 歩行者利便増進道路制度（ほこみち制度）の設計及び活用を検討する。 民間主導イベント等の道路、公園等公共空間での実施を検討する。 ウォーカブル推進区域の指定による景観づくりを検討する。 まちなかでのベンチやトイレの設置（改修を含む）について検討する。 ユニバーサルデザインの推進（横断歩道の新設、歩道橋の平面化）を図る。 公衆喫煙所の適正配置を検討する。 民有地の緑化を支援する制度の創設を検討する。 にいがた2kmを中心に高機能シェアサイクル（GPS電動車両かつキャッシュレス決済による無人管理型シェアサイクル）の導入可能性を検討する。 まちなかにおける移動性・回遊性の向上を図るため、新たなモビリティの導入可能性を検討する。 にいがた2km等における買い物やイベント需要に対応した土・日・祝日限定のワンコインバスの導入可能性を検討する。 ICTの活用、MaaS等の推進に係る事業者の動向に合わせ、広報等の適切な後方支援を実施していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 東大通社会実験の実施【R4年度優先検討】 旧新潟駅前通のストリートデザイン基本計画【R4年度優先検討】 旧運輸跡地の利用方針素案の検討 西堀R-3改修 駐車場実態調査・分析【R4年度優先検討】 都市再生推進法人による施策展開に向けた検討 ほこみち制度活用の推進 民間主導のイベント等による「にいがた2km」周辺の道路、公園等公共空間の利活用 ウォーカブル推進区域の指定に向けた検討 新潟駅・万代地区周辺の景観計画特別区域指定に向けた取組の推進【R4年度優先検討】 にいがた2kmを花とみどりで彩るとともに他部署と連携した緑化イベントの開催【R4年度優先検討】 社会実験でのベンチ設置 駅周辺（南口、花園）の既存トイレのリニューアル 新潟駅南口広場公衆便所改修 花園公衆トイレ改修 公衆喫煙所のリニューアル 榎谷小路・西堀交差点の横断歩道新設 市街地再開発事業、優良建築物等整備事業の対象とならない建物において、緑化スペースが生み出されるような支援を行う新たな制度の創設を予定【R4年度優先検討】 フラワーパートナー事業などの既存制度の拡充の検討 にいがた2kmを中心にシェアサイクルの導入【R4年度優先検討】 まちなかの回遊性向上に資するグリーンスローモビリティや新たなパーソナルモビリティなどの導入検討 にいがた2km等における買い物やイベント需要に対応したワンコインバス導入の検討 実現可能な事業計画の検討 運行事業者と協議 事業効果の検証方法の検討 適切な後方支援を実施

推進項目	検討事項	取組の方向性	R4年度の取組
③都心における各エリアの特性を活かした良好な都市景観の形成 良好な景観形成に向けた取組を推進するとともに、ユニバーサルデザインにも配慮したまちづくりを進めます。	・看板の規制等による統一感のある街並みづくりについて	・新潟駅・万代地区将来ビジョンの策定や景観ガイドラインの作成に向けた取り組みを進める。	・新潟駅・万代地区周辺の景観計画特別区域指定に向けた取組の推進【R4年度優先検討】 ・証谷小路周辺地区景観ガイドラインの運用
	・交通拠点として、外国人などにも配慮したサイン関係の整備について	・外国人などにも配慮し、QRコードの活用などわかりやすく使いやすい新たなサイン整備を推進する。	・外国人などにも配慮した、わかりやすく、QRコードの活用など使いやすい新たなサイン整備の推進
	・文化遺産をはじめとする歴史的建造物の保護（保存と活用）について【再掲】	・地域再生計画に基づく「まちなみ整備なじらね協定促進事業」に継続的に取り組む。 ・古町花街地区の特別区域指定に向け関係者との連携、合意形成を図る。 ・歴史的建造物の維持、活用に向けた規制緩和を検討する。 ・歴史的建造物の文化財指定・新規登録を促進する。	・地域再生計画に基づく「まちなみ整備なじらね協定促進事業」の継続 ・古町花街地区の特別区域指定に向け景観形成推進組織である「古町花街の会」と連携しつつ、地権者等の合意形成を行う ・歴史的建造物の維持、活用の支障となる規制について緩和を検討 ・歴史的建造物の新規指定及び新規登録の推進

その他.

推進項目	検討事項	取組の方向性	R4年度の取組
①「にいがた2km」の情報発信マネジメント にいがた2kmの魅力や取り組みを集約し、効果的に情報発信することで、更なる賑わいとまちづくりへの参画機運を醸成します。	・「にいがた2km」の情報発信プラットフォームやデジタルコンテンツの活用について	・まちづくりへの期待感やワクワク感などの機運醸成を図るため、「にいがた2km」の情報を集約・発信する体制や、広報戦略等について検討する。 ・にいがた2kmの情報を効果的かつ効率的に発信するため、にいがた2km内のイベントをパッケージ化した広報やAR・VRを活用したデジタルコンテンツの導入などについて検討する。	・にいがた2kmの魅力効果を効果的に発信するための広報戦略を作成 ・にいがた2kmの情報発信プラットフォームとなる特設ホームページを構築【R4年度優先検討】
②官民連携によるエリアマネジメントの推進 多様な主体がまちづくりに参加しやすい環境づくりを推進し、官民連携による持続可能なエリアマネジメントを進めます。	・企業・団体、新潟市など官民連携によるエリアマネジメントの推進、イベントの実施について	・官民連携エリアプラットフォームの構築および事業の推進を図る。 ・都市再生推進法人によるエリアマネジメントの推進を図る。	・新潟駅・万代地区周辺の将来ビジョンの策定および官民連携エリアプラットフォームの構築【R4年度優先検討】 ・共同イベントの実施 ・古町花街エリアの未来ビジョンに基づく事業の実施
	・官民連携による持続可能なエリアマネジメントを実現するための屋外広告物規制の緩和について	・エリアマネジメントを可能とする屋外広告物条例の改正を検討する。 ・都市再生推進法人による特例制度の活用を検討する。	・屋外広告条例の改正に向けた検討
	・官民連携による持続可能なエリアマネジメントを実現するための公共空間の利活用の推進について	・歩行者利便増進道路制度（ほこみち制度）の活用を検討する。 ・新潟駅の新万代広場等のエリアマネジメントの導入を検討する。 ・エリアを象徴する通り名（愛称）の設定を検討する。	・ほこみち制度活用の推進 ・新万代広場等のエリアマネジメント導入の推進 ・エリアを象徴する通り名（愛称）の検討
その他	・8区との連携強化について【再掲】	・「にいがた2km」と「8区のネットワークの深化」をさらに強化し、加速させるため、関係部区との連携体制を検討する。	・「にいがた2km×8区連携」を強化・加速するための組織を立上げ、都心と8区との連携に向けた方策を検討

令和3年9月に公表した『都心のまちづくり【「にいがた2km」の覚醒】』について、市ホームページや説明会等を通じて、関係団体や企業、市民の皆様からご意見・ご提案を頂きました。下記は、そこで頂いた約200のご意見・ご提案を整理したものです。

柱Ⅰ. 人・モノ・情報の中心拠点となる稼げる都心づくり

【都市再生緊急整備地域の活用】

- 都市再生緊急整備地域のエリア拡大を

【戦略的な企業誘致の推進】

- 老朽化したビルの建て替え促進を
- リモートワーク対応オフィスの整備を
- スタートアップ企業や起業家への支援強化を
- IT企業以外の誘致も必要
- 新潟から全国に発信・販売できる企業の誘致を期待
- 若者にとって魅力的な企業の誘致を
- 若い世代が魅力を感じる市内優良企業のPRを充実させるべき

【産業DX、ICT推進】

- DXプラットフォームや5Gビジネスラボなどの先進的な取組のPR強化を
- 人流データ等を活用したまちづくり施策やビジネスへの展開を
- 徹底的に尖った未来都市を目指すべき
- にいがた2kmにフリーWi-Fiの整備を

【観光資源を活かした交流人口の拡大】

- デジタル媒体を活用したPRの強化を
- 新潟のシンボルやSNS映えするスポット、観光名所などの整備を
- 国際交流・多文化共生や在住外国人への支援などの施策展開を

【歴史・文化・スポーツを通じた賑わい】

- 歴史まちづくり法に基づく「歴史的風致維持向上計画」の策定が必要
- 堀や町屋等の街並みを復元し、旧市街地の魅力を活かしたブランディングを
- みなとまち文化のアピールを
- クリエイターと連携し、まちなかに歩いて楽しめる展示等をしてはどうか
- 文化的コンテンツのPRが不十分
- アマチュア向けの小劇場の不足を補う意味でも、ギャラリーと住居一体型のアーティストレジデンスを古町に
- 子供、高齢者、障がい者などが幅広く気軽にスポーツを楽しめる環境整備を
- プロスポーツチームとのコラボイベントを

【新潟駅周辺整備】

- 新潟駅のリニューアルを起爆剤として、駅南から古町をつなぐ賑わい創出を
- 万代広場に新潟を象徴するオブジェの設置を検討すべき
- 新観光案内所のディスプレイに工夫を
- 来街者へのおもてなしの表現を
- 駅前にペDESTリアンデッキの整備を

【その他】

- 都心地域への大型公共投資を
- 空き店舗の活用促進を
- 周辺市町村との連携・交流の強化を

柱Ⅱ. 都心と8区の魅力・強みのコラボレーションによる新たな価値の創造

【「新潟の食と花」の魅力発信】

- 新潟の食や農を伝える場としてにいがた2kmを活用する取組は良い
- 食関連のイベントによる活性化を期待
- にいがた2kmに生鮮食品店舗整備を

【儲かる農業の推進】

- ICT活用による稼働削減等の支援や担い手の早期育成を

【8区との連携】

- イメージしやすいよう、取組の具体例を示すべき
- 都心以外でも関連事業として〇〇2キロの取組を展開してはどうか
- 都心には都市機能を集中させるなど、8区との役割分担を明確にすべき
- 8区の魅力が詰まったにいがた2kmに
- 都心で8区の情報収集できると良い

柱Ⅲ. 居心地が良く、市民が主役になるまちづくり

【信濃川やすらぎ堤の活用】

- 水辺のアクティビティなど、新潟でしかできない取組の充実を

【良好な景観の形成】

- 建物の高さ規制など景観への配慮を
- 都市計画やクリエイターの専門家と市民・企業が意見交換する場づくりを

【都心部の駐車場について】

- 無料駐車場の整備や都心エリアの駐車料金均一化を検討すべき

【安全・安心】

- オフィスビルを津波避難ビルや災害備蓄倉庫として活用し、防災機能の向上を

【くつろげる、歩いても楽しい都市空間】

- 道路空間を活用したカフェテラスやマルシェ等の実施に向けた規制緩和を
- 都心軸のオフィスビル1階を商業施設として、歩いて楽しい空間づくりを
- アーケードや地下道、ビル内通路など、全天候型の歩道や、動く歩道の整備を
- 電動キックボードなど、新たなパーソナルモビリティの導入を
- そのためには道路空間の再構築が必要
- にいがた2km内のバスを無料または特別料金にすべき
- 万代島方面へのアクセス強化を
- モノレールやLR T、都市型自走式ロープウェイなどの整備を検討すべき
- 駅前を中心に緑化推進を
- 小さい子供の遊び場があると良い

その他

【にいがた2kmの情報発信】

- にいがた2km内の様々な情報（各エリアの魅力や将来像・イベント等）を一元化して発信していくべき
- にいがた2km全体の取組を推進する組織を強化すべき
- イメージを共有するため、世界のモデルケースとなる都市を示してはどうか
- イラストや映像などにより、目指す姿がイメージできる情報発信を

【官民連携によるエリアマネジメント】

- 持続可能な官民連携エリアマネジメントの仕組みづくりが必要

【その他】

- 各エリアの個性を活かしたまちづくりを
- 各エリアの個性に合わせた補助制度を
- 交通渋滞が起きないような交通計画を
- ビッグスワンまでつながる楽しい空間づくりを
- 若者の地元愛の醸成につながる取組を

にいがた2kmの覚醒の修正

- 「古い建築物の更新の停滞」を本市の課題としているが、大切な古い建築物も多くあるので表現を改めるべき
- 推進項目「歴史・文化・スポーツを活かした賑わいの創出」は、多様な歴史や文化の価値を活かすため、柱ⅠからⅢへ移行すべき
- 「緑豊かな都市空間の実現」を推進項目に加えるべき

- 取組の方向性に「取組期間」「担当課」「成果指標」等を記載すべき
- 目指す方向性のカテゴリーが多すぎて、イメージしにくい
- 他都市より優れた本市ならではの魅力を示すべき
- 充実した交通インフラや職住近接など、優れた住環境をPRすべき
- 総合計画や諸計画との相関を示すべき